

開催日:2023年2月19日(日) 18:00~20:20

会場:Zoomによるオンライン会

参加者: 伊藤(H15C)、清水(49C)、阿部(桂)(46修S)、奥山(52E)、松永(47C)、
佐野(62W)、阿部(雅)(47修C)、鶴岡(44M)、二宗(46M)
森口・中村・瀬尾(四国)、倉林(平塚)、松原(さいたま)、吉平(東京)
堤(宇都宮)、野口(西九州)、金井(東京)、原(富山)

合計 19名

清水連合支部長から他支部への声掛け等もあり、今回新たに宇都宮、西九州、富山の支部長および東京の会員など新規参加があり、参加地域も全国的に広がってきたことはうれしいことである。

今回のプレゼンは、若手の現役で家業を継いでいる伊藤さん(H15C)が行ってくれた。

子供のころから科学とコンピューターが好きで、高校時代に読んだカントの純粋物理批判の哲学書が理系方面の進学に影響を与えた。

アナログ的な科学分野にコンピューターの知識を応用したいと応用科学材料工学科に進んだ。

卒業後は、家業(オーダーシャツ専門店)が大変な時期であったので、得意なコンピューターの技術を生かし、特徴ある会社で仕事をしながら、家業を支えてきた。



家業を立て直すために、売上げを伸ばすことを目的にホームページを自作。さらにWEB上での販売のモールを出店した。これらの効果が実り、3年後には売上げはV字回復を達成した。

コロナの流行とともに市場のマスク不足に目をつけ、自社の技術、素材で布マスクを開発。地元新聞に取り上げてもらい、飛ぶように売れた。しかし本業のシャツの売上げは大幅に減少し、対策として新しくシャツのリペア事業を始めた。

さらに今後を見据え、国内オンラインオーダーシャツの販売を確立すると同時に、海外までのグローバル販売の構想を立て準備に入っている。

「シャツハウスイトウ」はオーダーシャツ専門店として、国産から輸入品まで幅広く特徴ある生地を品ぞろえしている。1945年以来積み重ねてきた仕立て理論、独自の縫製法で、長くお客様に喜んでもらえるシャツを提供している。



幹事のつぶやき一言

今回の参加者は19名と今までの最高的人数で、しかもその半数は東海連合支部以外の支部からの参加である。ここまで広い地域から参加していただいて繋がってきたということは、幹事としても非常にうれしい限りである。

また今回の発表者は若い現役世代であり、コロナ禍の厳しい環境の中で、新しいチャレンジを試みながら、今までの伝統を守り継承しようとしている姿に感動し、大きな拍手と応援を届けたい。

(幹事 二宗 46M)